

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 4 区分

【発行日】平成25年10月10日 (2013.10.10)

【公開番号】特開2012-61785(P2012-61785A)

【公開日】平成24年3月29日 (2012.3.29)

【年通号数】公開・登録公報2012-013

【出願番号】特願2010-209079(P2010-209079)

【国際特許分類】

**B 4 1 J 2/165 (2006.01)**

【F I】

B 4 1 J 3/04 1 0 2 N

【手続補正書】

【提出日】平成25年8月23日 (2013.8.23)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ターゲットに付着させて記録を施す記録液を噴射する複数のノズルと保湿液を供給する供給口とを有する記録ヘッドと、

前記記録ヘッドと当接した状態で前記ノズルと対向して前記記録液を受容可能な記録液受容部と前記供給口と対向して前記保湿液を受容可能な保湿液受容部とを有するキャップと

を備えることを特徴とする液体噴射装置。

【請求項 2】

前記キャップは、前記当接した状態において前記記録ヘッドと当接する外壁を有し、

前記キャップの外壁よりも内側の領域において前記記録液受容部と前記保湿液受容部とを区画する隔壁が設けられ、

前記外壁は、開口縁において弾性を有する弾性部を有し、

該弾性部は、前記記録液受容部を区画する前記隔壁が、前記ノズルが形成されたノズル形成面と当接した状態と離間した状態との 2 つの状態間において、前記外壁が前記記録ヘッドと当接した状態を維持するように変形することを特徴とする請求項 1 に記載の液体噴射装置。

【請求項 3】

前記保湿液受容部は、前記保湿液を吸収して保持する吸収体を備えることを特徴とする請求項 1 または請求項 2 に記載の液体噴射装置。

【請求項 4】

前記保湿液受容部は前記記録液受容部の各々を囲むように形成されていることを特徴とする請求項 1 ~ 請求項 3 のうち何れか一項に記載の液体噴射装置。

【請求項 5】

前記キャップは、1 つの前記保湿液受容部を有し、当該 1 つの前記保湿液受容部の領域内に複数の前記記録液受容部を有することを特徴とする請求項 4 に記載の液体噴射装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 0

【補正方法】変更

## 【補正の内容】

## 【００１０】

上記目的を達成するために、本発明の液体噴射装置は、ターゲットに付着させて記録を施す記録液を噴射する複数のノズルと保湿液を供給する供給口とを有する記録ヘッドと、前記記録ヘッドと当接した状態で前記ノズルと対向して前記記録液を受容可能な記録液受容部と前記供給口と対向して前記保湿液を受容可能な保湿液受容部とを有するキャップとを備える。

## 【手続補正３】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１２

【補正方法】変更

## 【補正の内容】

## 【００１２】

本発明の液体噴射装置において、前記キャップは、前記当接した状態において前記記録ヘッドと当接する外壁を有し、前記キャップの外壁よりも内側の領域において前記記録液受容部と前記保湿液受容部とを区画する隔壁が設けられ、前記外壁は、開口縁において弾性を有する弾性部を有し、該弾性部は、前記記録液受容部を区画する前記隔壁が、前記ノズルが形成されたノズル形成面と当接した状態と離間した状態との２つの状態間において、前記外壁が前記記録ヘッドと当接した状態を維持するように変形する。

## 【手続補正４】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１５

【補正方法】変更

## 【補正の内容】

## 【００１５】

本発明の液体噴射装置において、前記保湿液受容部は前記記録液受容部の各々を囲むように形成されている。

この構成によれば、囲むように形成された保湿液受容部によって、記録液受容部に対応するノズルを一様な保湿状態とすることができる。従って、ノズルのクリーニングを良好に行うことができる。